



「第十二回オリンピック冬季競技大会国際スキー斥候競争に本邦側参加方招請に関する件」

平成 4（1992）年以前に実施されたオリンピックは、夏季・冬季いずれの大会も同じ年に開催されており、昭和 15（1940）年の開催地は夏季大会が東京、冬季大会が札幌と決定されました。しかし、この決定が下された昭和 11（1936）年以降、国際情勢は緊迫化し、戦時態勢に入っていた日本は昭和 13（1938）年に至ると開催権を返上しました。

これに伴い、冬季大会の開催地はスイスのサンモリッツに代替されることとなり、日本に対して参加の招請がありました。史料は、この招請と回答に関する文書です（登録番号：陸軍省一巻大日記 S14-3-211）。

陸軍にはスキー斥候競争への参加招請がありましたが、戦時下であることから参加を辞退しました。同競争は陸軍軍人のみが参加対象であり、バイアスロンに似た 1 チーム 4 名による団体戦で、高低差約千 m、距離 25～30 km のコースを走破する競技でした。

なお、昭和 14（1939）年には第 2 次世界大戦が勃発したため、サンモリッツでの開催も中止となり、昭和 15 年のオリンピックは幻の大会となりました。